

# 高麗中学校の教育

生徒数 92名  
教職員 20名

**教育信条**  
教育は人なり、垂範である。  
教育は、調和とバランス、そして和である。

すべての物事に基礎基本がある(基礎基本の徹底)  
基礎基本は人類5千年の知恵の結晶である  
人各々長所あり(長所の伸張)  
人は短所で生きるのではなく、長所で生きる

「節から芽がでる」  
・歴史や伝統は、先の見えない未来を正しく進んでいく手本である。  
・より良く生きようと努力する力が世界を進歩させてきた。  
・知識は荒れ狂う海を乗り越える堅固な船となる  
・礼儀を身に付けることは武士が身に付ける甲冑となる  
・ル・ルヤマナ -、エチケットは人間関係の知恵である。  
・言葉の荒廃は心の荒廃である。愛語の訓練は愛情の訓練である。  
・勉強は心の強さを鍛える訓練でもある。

**学校教育目標**  
よく学び、心豊かに、たくましく

**めざす生徒像**  
未来を志向し、自らの人間力を鍛えていく生徒  
高麗を語る生徒(郷育) 自己管理できる生徒(体育)  
豊かな心を持つ生徒(徳育) 探究心のある生徒(知育)

**めざす教職員像**  
百の施策より、一人の教職員・・・危機意識・スピ・ド・ディスカッション  
生徒を見る目 相手の立場に立つ・誠実  
時代や社会を見る目 } 持って、動く教職員  
評価してもらう目

**経営方針**  
ミッション「心を耕す教育」の推進 ~きれいな学校・落ち着いた学校・温かな学校~  
1 高麗を基盤とした教育 2 学力の向上 3 豊かな心の育成  
4 体力の向上 5 開かれた学校 6 安心安全・潤いのある環境

学習指導要領改定の基本的な考え方  
1 「生きる力」の理念の共有  
2 基礎的・基本的な知識・技能の習得  
3 思考力、判断力、表現力等の育成  
4 確かな学力確立への必要な授業時数の確保  
5 学習意欲の向上と学習習慣の確立  
6 豊かな心と健やかな体の育成

教育振興計画 目指すべき教育の姿  
1 義務教育修了までに、すべての子どもに自立して  
社会で生きていく基礎を育てる。  
公教育の質を高め信頼を確立する。  
社会全体で子どもを育てる。  
2 社会を支え、発展させるとともに、国際社会を  
リ・ドする人材を育てる。

高麗を基盤とした教育(高麗を語る生徒 郷育)

伝統ある学校行事推進充実、外部人材の教育力活用  
伝統ある学校行事の実施  
立志式、河川清掃、日和田山登山、合唱祭、チャレンジワ・ク  
外部人材の積極的活用  
・授業、講演会、学校行事  
言語活動の推進 読む・話す・聞く・書く。  
・自分の考えを表現する場と機会の設定  
農業体験学習の推進

体力の向上(自己管理できる生徒 体育)

体育的活動の充実と健康教育の推進  
基礎体力の向上を図る体育授業  
学期に一回の縦割りでの全校体育、放課後の駅伝練習  
体育祭、部活動の充実  
定期的健康診断、保健室や教室訪問での健康教育・  
健康相談の実施  
教育に関する3つの達成目標の到達(体力)  
給食の時間を活用した食育の実施

学力の向上(探究心のある生徒 知育)

基礎基本の徹底と個に応じた指導  
(1) 基礎基本の徹底と学習規律の確立  
高麗中検定の実施 学習の進め方ガイダンスの実施  
「学習シラバス」の作成 定期試験前の質問教室の継続  
夏季休業学習講座の実施 授業研究の実践  
(2) 個に応じた指導 多様な生徒への学習機会設定 TTによる特別  
支援教育 朝読書の充実 一人一回の授業研究の充実  
(3) 新学習指導要領への対応 週2・9時間の先行実施

開かれた学校

P T A、地域、小学校との連携協力  
P T A活動との連携協力・・・花いっぱい運動、親子除草作業、学校公開  
支援、家庭教育学級  
高麗コミュニティ会議との連携協力・・・駐車場、教育特別講演会等  
学校評議員との連携協力・・・除草作業、合唱祭審査、授業参観、意見聴取  
小学校との連携協力  
学校評価の公開と学校関係者評価の推進  
授業公開と学校公開の推進

豊かな心の育成(豊かな心を持つ生徒 徳育)

道徳教育を基盤にした学級づくりと生徒会活動の活性化  
(1) 道徳教育を基盤にした学級づくり 道徳部会の活性化  
(2) 生徒会活動の充実と話し合い活動の活性化を図る学級会活動の清掃・挨拶・校歌  
(3) 進路指導・キャリア教育の充実 生徒理解 計画的組織的進路指導 啓発体験  
(4) 特別支援学級を大切に学校づくり・・・多くの教員、生徒と共に活動する場と機会設定  
(5) より良い人間関係構築への教育相談の充実・・・家庭訪問、二者面談、チャンス相談  
(6) 人権尊重の精神を培う人権教育集中指導の推進  
(7) 多面的な生徒理解・・・授業開始前後の5分間の声かけ、いじめアンケート  
の定期的実施、校内巡視、相談室活用

安心安全・潤いのある環境

生徒が育つための環境が整った学校  
自分の分担に責任をもって行う全力清掃活動  
教室の机整頓、教室内や廊下の掲示物の充実  
花のある学校づくり推進 きれいなトイレ  
学校放送の充実  
必要なことが直ちに改善される体制の充実  
安全点検の定例化と励行  
機能する危機管理体制の確立